



# 和歌山県への教育旅行のご提案

和歌山県観光交流課  
和歌山県観光連盟



## 本県の教育旅行の特徴

### 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

- 世界が認めた環境で自立心を育む
- 海・山・川の体験で、学ぶ意欲を育む
- 食の成り立ち、大切さを学ぶ



### 和歌山の“民泊”で 地域のひととの交流

- 自然と共存し、助け合う田舎暮らしを体験
- 思いやりの心や、豊かな人間性に触れる

### 行政機関等がサポート&バックアップ

- プランニングから下見支援、事前学習もサポート

# 世界が認めた環境で自立心を育む

- ◇世界遺産登録エリア「熊野古道」「高野山」
- ◇国際的に重要な湿地を保全する条約「ラムサール条約 串本町のテーブル珊瑚群」



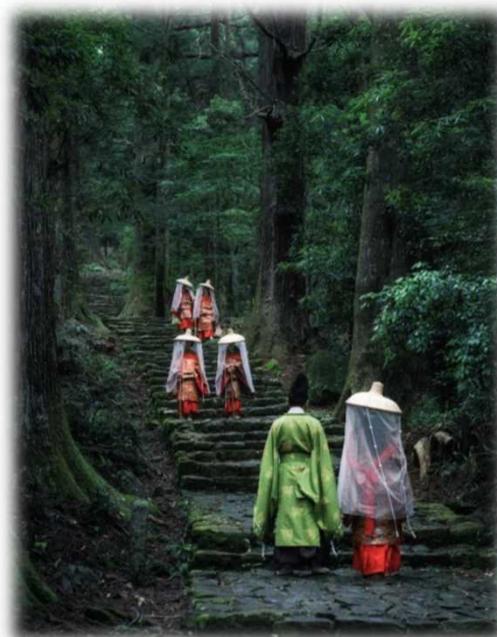
「熊野古道」

「高野山」

「串本町のテーブル珊瑚群」

## 世界遺産『熊野古道』

- ◇平成16年「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録
- ◇道が世界遺産として登録されているのは、  
熊野古道とスペインの参詣道「サンティアゴ・デ・コンポステーラ」の2つ！



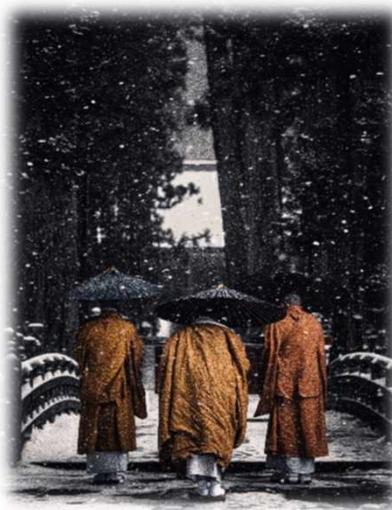
## 『熊野三山』 『熊野古道』

『熊野三山』とは、「熊野本宮大社」「熊野速玉大社」「熊野那智大社」の3社と「那智山青岸渡寺」1寺の総称。それぞれに異なる自然崇拜を起源に持つ独立寺院でしたが、平安後期の神仏習合で本地仏が与えられたことと、熊野参詣道中辺路を通じて互いに勧請できるようになったことから、「熊野三所権現」として広く信仰されるようになり、鎌倉以降は庶民にも広まり、その様子を「蟻の熊野詣」と表現された。



# 世界遺産『高野山』

- ◇平成16年「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録
- ◇1200年以上の歴史が紡ぐ日本仏教の「聖地」 標高約900mの山上に117の寺院が点在する一大宗教都市。



## 高野山ならではの体験メニュー

高野山は、1200年以上前に弘法大師空海が開創した祈りの聖地。山内には51のお寺が宿泊可能な「宿坊」として利用できる他、生身供（しょうじんく）はじめ、この地ならではの体験メニューがある。



写経



護摩行



勤行



阿字観



生身供



奥の院ナイトウォーク

# ラムサール条約登録エリア『串本町のテーブル珊瑚群』

- ◇平成17年「串本沿岸地域」がラムサール条約湿地として登録
- ◇世界最北の大サンゴ群生域で、テーブル状の群落は国内最大規模！！



串本沿岸海域のラムサール条約区域



## ラムサール条約登録エリア『串本町のテーブル珊瑚群』

年間を通じて暖かな水温と高い透明度を誇り、数多くの熱帯魚や約120種類のサンゴが分布している『本州の沖縄＝串本』11月までスノーケリング等のマリン体験が可能。ラムサール条約に登録されているサンゴの海は、沖縄と和歌山の2箇所のみ！！

同町の「串本海中公園」ではウミガメの繁殖に取り組んでいる様子やサンゴを食べるオニヒトデの駆除など、美しい海を残すための活動についても学べる。



# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

- ・熊野古道の保全活動や黒マグロの枯渇や養殖にかかる食育等
- ・SDGsに特化したメニューが多数！【フィールドワーク+ワークショップ】

## 1、【世界文化遺産 熊野古道 保全と活用】



## 2、【南紀熊野ジオパーク】

～大地に育まれた熊野の自然と文化に出会う～



## 3、【完全養殖マグロ 将来に向けた資源管理】



## 4、【日本・トルコ友好の絆の物語】

～エルトゥールル号遭難事件～



## 5、【災害に備えて】

～地震や津波、土砂災害の脅威からの備え～



## 6、【古式捕鯨発祥の地

日本遺産 鯨とともに生きる】



# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

## 【世界文化遺産 熊野古道 保全と活用】



受入人数：～約320人  
所要時間：3～6h  
エリア：田辺市or高野町

- ◆世界遺産の保全活動で、熊野古道を後生に伝えていく**サステナブル**な取り組み。
- ◆世界遺産に自分たちの手で触れ、保全できるのは**日本で唯一！！**
- ◆教育旅行のみでなく、企業のCSR活動にも多く活用されている。
- ◆仲間で行う作業により、チームワークの大切さや連帯感を養える。
- ◆語り部（ガイド）が同行。熊野大社参拝までが通例。

### （道普請の流れ）



①事前学習



②現地までウォーク



③土嚢へ土入れ



④土嚢を運ぶ



⑤保全場所へ土入れ



⑥土を固める

### 〈終了後イメージ〉



（保全前）



（保全後）

# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

## 【南紀熊野ジオパーク】～大地に育まれた熊野の自然と文化に出会う～

- ◆平成26年、日本ジオパークに認定！
- ◆大地の成り立ちや自然の不思議を楽しみながら学べる施設も整備！



### 〈南紀熊野ジオパークセンター〉



当センターは、南紀熊野ジオパークの情報発信や調査研究の拠点となる施設。プロジェクトマッピングや大地のでき方を再現する装置、映像を通じて学ぶことかできる。実際現地に赴き、ガイド付きツアーも可能！

受入人数：～100人 所要時間：約1h

### 〈南紀ジオパークガイドツアー〉



ガイド養成講座を修了したガイドの方々が南紀熊野ジオパークを楽しく安全に案内。ジオパークセンターで学んだあと、現地を見ながら説明を受けると学習効果大！！

受入人数：～100人（ガイド1名につき10人）  
所要時間：2h程度

# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

## 【完全養殖マグロ 将来に向けた資源管理】

- ◆和歌山県は生マグロの水揚げ高が**日本一**！！
- ◆本マグロの完全養殖に**世界で初めて**成功！！



### 〈本マグロ養殖体験〉



世界で初めて完全養殖に成功した町、串本町。養殖業者から、マグロの完全養殖に至るまでの、養殖の仕方や生態について学ぶ。漁船で生け簀に行き、実際にエサやり体験が可能。エサやり体験の後には、養殖マグロの試食も！！

受入人数：～40人 所要時間：2h

### 〈生まぐる市場競り（入札方式）ガイドツアー〉



生マグロ漁獲量日本一的那智勝浦町の卸売市場で、公認ガイドと共に臨場感たっぷりに競りを見学。サステナブルな漁法（はえ縄漁）や目利きの仕方など学べる。オプションでマグロの朝食も！！

受入人数：～40人（ガイド1名につき10人）  
所要時間：1h

# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

## 【日本・トルコ友好の絆の物語】～エルトゥールル号遭難事件～

- ◆日本とトルコの友好の礎にもなった事件
- ◆史跡を巡り、**平和学習要素を含む道徳的学習に！！**



### 〈日本とトルコの友好の歴史 榎野崎ツアー〉



日本とトルコの友好の礎となった、エルトゥールル号遭難事件。1890年串本町大島沖で台風に遭い遭難。地元住民の不眠不休の救助活動を行ってから約100年後、イラン・イラク戦争中にトルコの援助機により多くの日本人が救出されるなど、道徳的学習にはピッタリのツアー。

各史跡をガイドと共に回り、当時の思いに馳せてみては。

受入人数：10～100人 所要時間：2～2.5h

※小雨決行



⇨平成27年12月に公開された、日本・トルコ合作映画「海難1890」当時の様子が描かれており、事前学習にも！！

# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

## 【災害に備えて】～地震や津波、土砂災害の脅威からの備え～

◆「世界津波の日」制定のきっかけとなった「稲むらの火」の物語や過去に経験した土砂災害の脅威から災害に備える知識を身につける。

### 〈稲むらの火の館〉

### 〈濱口梧陵歴史探訪ウォーク〉



安政の大地震（1854年）で津波が発生した際、稲村に火を灯し村人を救った「稲むらの火」。平成19年に完成した稲むらの火の館で当時の資料から学び、地震後、村人の生活を守るため私財で構築した堤防など、濱口梧陵の偉業や今後発生しうる大地震に備えるため**防災・減災学習**ができる。

[稲むらの火の館]

受入人数：20人～  
所要時間：約1.5h  
エリア：有田郡広川町

[探訪ウォーク]

受入人数：40人  
所要時間：30～90min  
エリア：広川町内



### 〈土砂災害について学ぼう！〉



近年、激甚化する土砂災害。災害から身を守るためには「**土砂災害について知る**」ことが必要。和歌山県土砂災害啓発センターでは過去の災害の教訓を後世に継承し、土砂災害のメカニズムや対策について学ぶことができる。

受入人数：～60人（4回/日）  
所要時間：1～2h  
エリア：那智勝浦町

# 教育効果の高いテーマ型学習プログラム

## 【古式捕鯨発祥の地 日本遺産 鯨とともに生きる】

- ◆約400年前、太地町から始まった古式捕鯨
- ◆平成28年4月、日本遺産に登録され、日本で唯一鯨とふれあうことができる施設



〈くじらの博物館〉 〈学芸員・飼育員によるレクチャー〉 〈体験イベント〉



江戸時代初期から古式捕鯨が始まり、地域を支える一大産業に発展した背景と今に受け継がれている捕鯨文化、そのストーリーに触れることができる。

受入人数：100人以上可  
所要時間：1.5h～



学芸員がクジラの生態や捕鯨の歴史について解説。また飼育員による飼育鯨類やトレーニングについての解説も実施。

[学芸員・飼育員解説]  
受入人数：25人（越える場合は要相談）  
所要時間：30min



クジラと一緒に泳いだり、エサやりをするなど触れ合うことで動物との共存について学ぶ。他にも、イルカ・クジラショーも見学することも可能。

受入人数：30人程度にグループ分け  
所要時間：5min（エサやり）  
30min程度（ショー）

# 海・山・川における様々な体験

- ◇リアス式海岸の特徴として陸と海の距離が近い
- ◇山の体験、川の体験、海の体験が午前と午後に分けられる
- ◇体験メニューは県下で約400種類を準備、各種ご要望に応じた組合せが可能！！



【間伐体験】

受入人数：40人 所要時間：2～3h



【フルーツ狩り】

受入人数：～200人 所要時間：1h程度



【星空ツアー】

受入人数：60人 所要時間：1h



【熊野古道ウォーク】

受入人数：～600人 所要時間：応相談



【リバーカヌー体験】

受入人数：50人 所要時間：3h



【熊野川川舟下り】

受入人数：30人 所要時間：1.5h



【瀬峡川舟クルーズ】

受入人数：10人/隻 所要時間：40min



【北山川ラフティング】

受入人数：～40人 所要時間：3.5h



【漁船クルーズ】

受入人数：60人 所要時間：1h程度



【スノーケリング】

受入人数：40人 所要時間：1.5h～3h



【漁業体験 (地引き網)】

受入人数：～80人 所要時間：1h



【シーカヤック】

受入人数：40人 所要時間：2h程度

## 和歌山だからこそできる学び・体験



日本初の民間ロケット発射場ができた串本町。ロケットにちなんだ体験メニュー「モデルロケット組み立て・打ち上げ体験」を整備。火薬を用いた打ち上げ体験のため、80m以上打ち上げることも可能！



ジャイアントパンダの繁殖に成功したテーマパーク「アドベンチャーワールド」は遊びの要素はもちろん、学び要素（動物とのふれあいによる共存等）など講義など特別な体験も可能。  
※ジャイアントパンダはR7.6.28に中国へ返還。



日本三大漆器の一つと称される紀州漆器。その代表的技法である「蒔絵」を使った塗り物体験にチャレンジ。楽しみながら、紀州の伝統産業について学ぶことができる。



平安衣装体験は、熊野信仰が隆盛を極めた平安時代後期に優美な衣装を身に纏った人々が連なって熊野古道を彩っていた当時の姿を再現し熊野古道を散策する"ここ"ならではの体験メニュー。



南方熊楠記念館は、和歌山が生んだ“知の巨人”でありエコロジーの提唱者「南方熊楠」を学べる施設。館の所在する番所山は国立公園でもあり、自然観察環境学習の場としても最適。



紀州が発祥とされる備長炭。紀州備長炭づくりを通して自然との共生や伝統産業を学ぶことができる。また、紀州備長炭を用いた風鈴づくり体験も実施可能。

## 食の成り立ち・大切さを学ぶ

意外と知られていない和歌山発祥の食をはじめ、生産者から直接、食の成り立ちを学ぶことも和歌山ならではの修学旅行！！



和食に欠かせない、醤油。江戸時代に現在の湯浅町を中心に産業として発展。醤油を江戸で販売しようと、千葉県銚子の銚子で醸造を始める事業者もあり、江戸から醤油文化が全国に広がった。



醤油の起源であると云われている金山寺味噌。鎌倉時代に現在の中国に渡った法燈国師が「径山寺味噌」を日本に持ち帰り製法を伝えた。「紀州金山寺味噌」は、原料ほか製造工程、管理など基準を設定し製造されている。



生産量日本一のみかん。中でも本県で生産されている代表的なブランドの「有田みかん」は有田地域を日本一のみかん産地に発展された持続的農業システムとして日本農業遺産にも登録されている。



燻製による「かつおぶし」の製法は、江戸時代に紀州印南町の角屋甚太郎によって初めて開発されたと伝えられている。



梅の生産量日本一の和歌山県。江戸時代から400年以上続く伝統的な梅作り製法が世界農業遺産に認定。梅干し作りや梅ジャム作り体験なども人気メニューのひとつ。



高野山で厳しい修行の中で食べる精進料理の一つとして生まれたといわれているごま豆腐。高野山のお土産として知られており、ごま豆腐作り体験もメニューとして整備している。

## 民泊体験

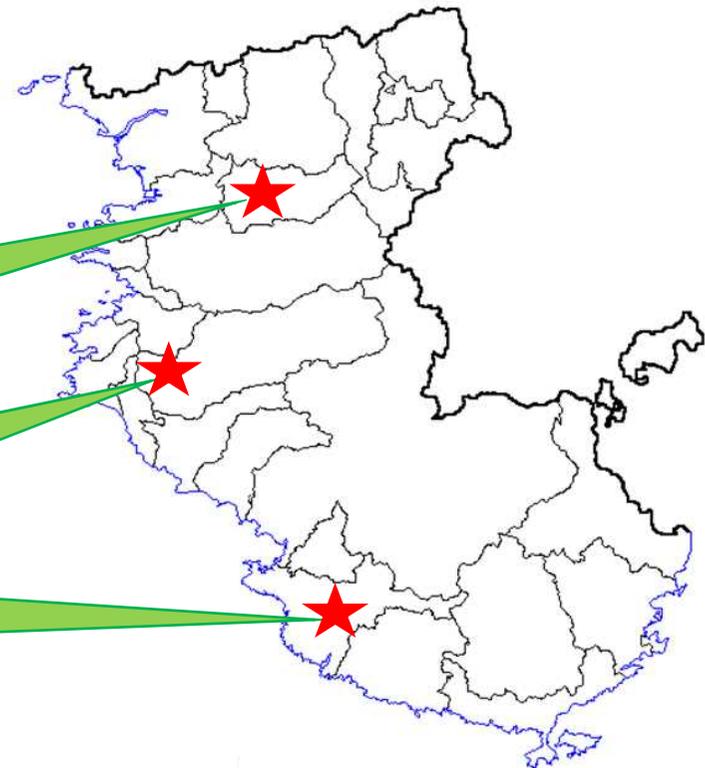
地域の家庭に宿泊し、実際の田舎暮らしを体験  
夕食づくりや農作業など生活体験を通じて交流



紀美野町  
【受入可能人数】最大60名  
【団体名】紀美野民泊協議会  
新大阪駅からバスで約1.5時間

日高エリア  
【受入可能人数】最大150名  
【団体名】紀州体験交流ゆめ倶楽部  
新大阪駅からバスで約2時間

白浜エリア  
【受入可能人数】最大250名  
【団体名】南紀州交流公社  
新大阪駅からバスで約2.5時間



## 民宿分宿

同じエリア内のいくつかの民宿にグループ毎に宿泊  
ご主人や女将さん、地域の皆さんと一緒に交流会

※代表的なエリア

日高エリア（由良町・日高町） 受入可能人数：～200人



## 民泊体験等

「見る観光」から「体験する観光」への需要の変化に着目し、和歌山県に暮らす人々とのふれあいの中で、豊かな自然や文化資源、農林漁業など地域資源をありのままに体験・体感してもらえる「ほんまもん体験」をプログラム化しています。

中でも民泊体験は、自然と共存し、素朴で温かい農山漁村のありのままの暮らしを感じることができ、これまで多くの児童・生徒の受け入れを行ってきており、定評をいただいております。

各民泊受入家庭では、児童・生徒をお客様ではなく「**家族の一員**」としてお迎えし、人と人とのふれあい（対話的な学び）の素晴らしさや大切さを実感してもらうことを心がけています。

### ◆民泊の流れ（例）



【入村式・対面式】



【各家庭での団らん】



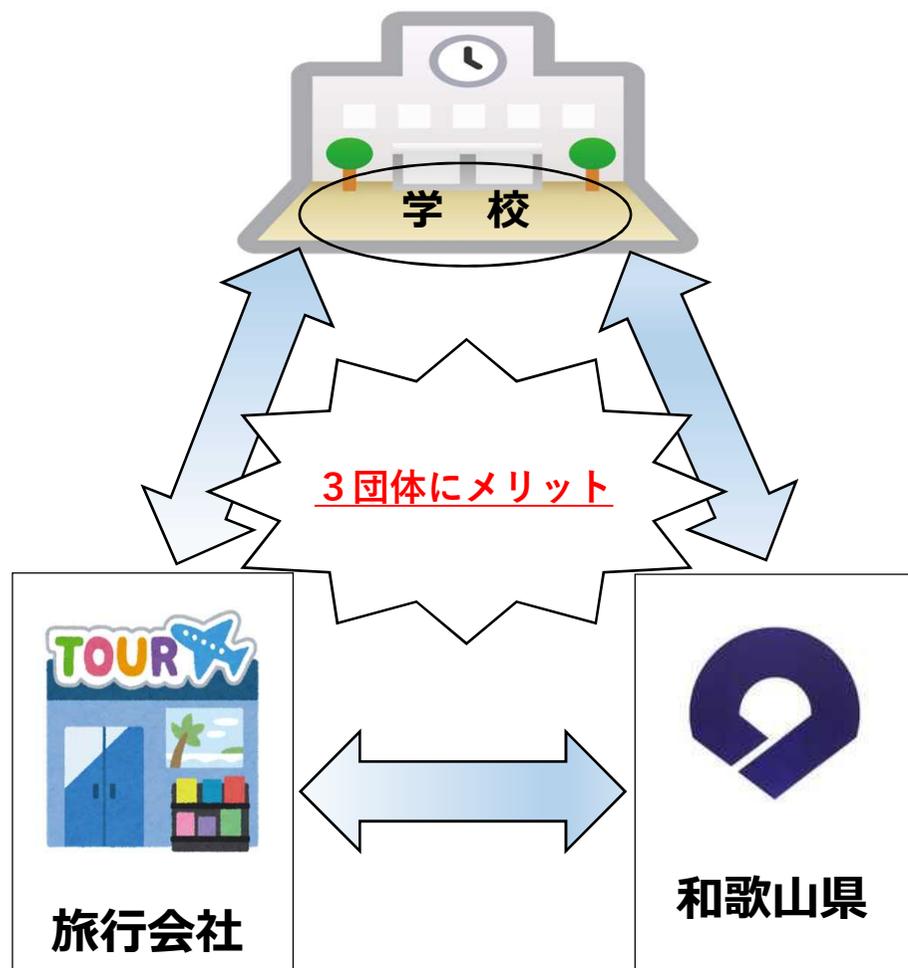
【離村式】



【ほんまもん体験】



# 行政機関等がサポート&バックアップ



## <連携時の主な役割>

### 【学 校】

保護者や生徒への調整や周知。

### 【和歌山県】

地域の調整や事前事後学習等幅広いニーズへの対応。

### 【旅行会社】

円滑な旅程管理。

## <3団体の主なメリット>

### 【学 校】

・安心安全の担保やオリジナルの修学旅行の構築

### 【和歌山県】

・来県校による直接的経済効果

### 【旅行会社】

・地域の調整や情報収集の簡素化

## <最大の目的>

安心安全で、生徒にとって有意義で思い出に残る修「学」旅行が実施できる事

## 和歌山県の受入体制

◇和歌山県内9団体と和歌山県・県観光連盟で受入協議会を組織。各種ニーズに応えられる体制を整え、ご要望に応じたプランニングが可能。県全体で修学旅行をサポートいたします！！



1	紀の川フルーツ観光局
2	紀美野町民泊協議会
3	紀州体験交流ゆめ倶楽部
4	由良町観光協会
5	白浜町教育旅行誘致協議会
6	串本町教育旅行誘致協議会
7	那智勝浦町教育旅行誘致協議会
8	太地町教育旅行誘致協議会
9	新宮市教育旅行誘致協議会

# 修学旅行に対する和歌山県の支援一覧

## ◇旅行日程にあわせた旅行プランのご提案

## ◇下見旅行のアテンド、経費支援

〈経費支援〉

◎対象人数・・・6名まで

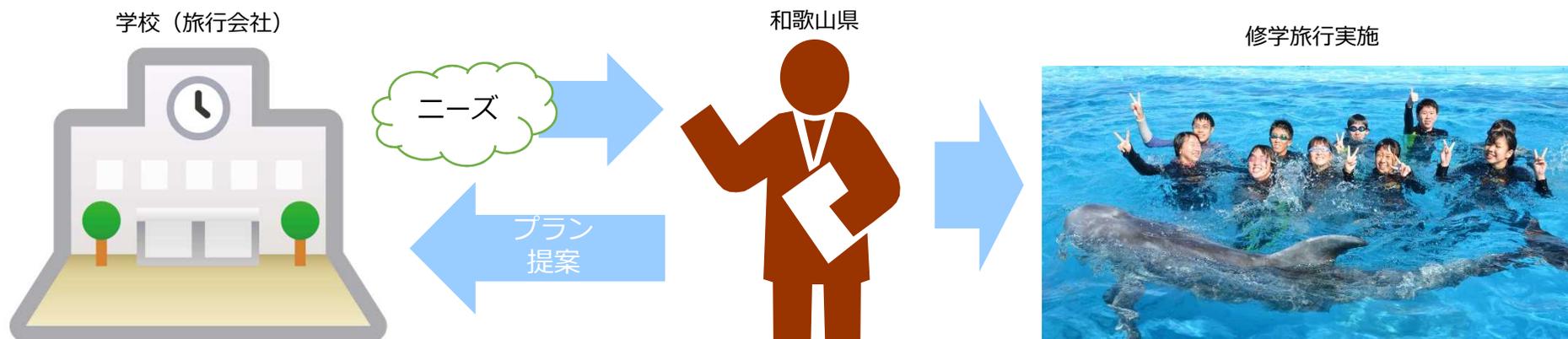
◎支援金額・・・首都圏 ～6万円/人      中京圏 ～3万円/人      中国圏 ～3万円/人  
近畿圏 ～2万円/人      九州圏 ～6万円/人

◎対象経費・・・交通費、宿泊費、昼食費、体験及び施設利用に係る経費

**※下見支援については、県観光連盟あてお問い合わせください。**

## ◇事前・事後学習の支援

## ◇パンフレット等のご提供



# 和歌山県への来県実績

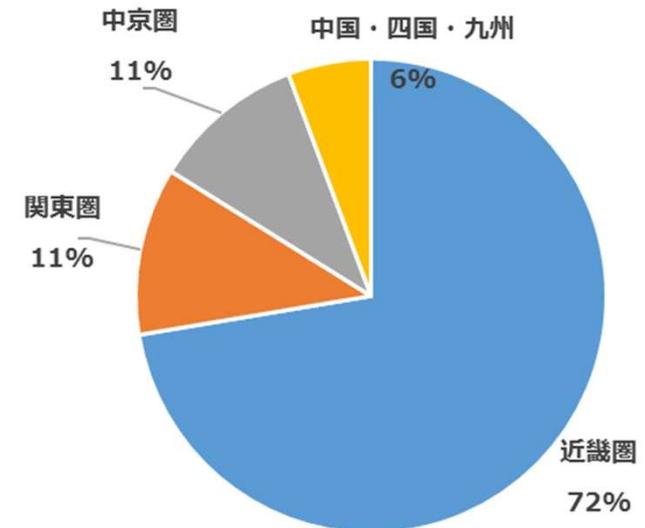
- ◇コロナ禍（R2～R4）においては、近場の動きがありR3においては過去最高を記録
- ◇方面先がコロナ禍前に戻りつつあるが、継続した誘致活動を展開中

〈来県実績数〉

	全体	海外	国内
H23	63	10	<b>53</b>
H24	79	17	<b>62</b>
H25	71	11	<b>60</b>
H26	83	14	<b>69</b>
H27	65	10	<b>55</b>
H28	78	14	<b>64</b>
H29	88	22	<b>66</b>
H30	99	36	<b>63</b>
R1	135	50	<b>85</b>
R2	451	0	<b>451</b>
R3	575	0	<b>575</b>
R4	359	0	<b>359</b>
R5	168	34	<b>134</b>
R6	137	21	<b>116</b>

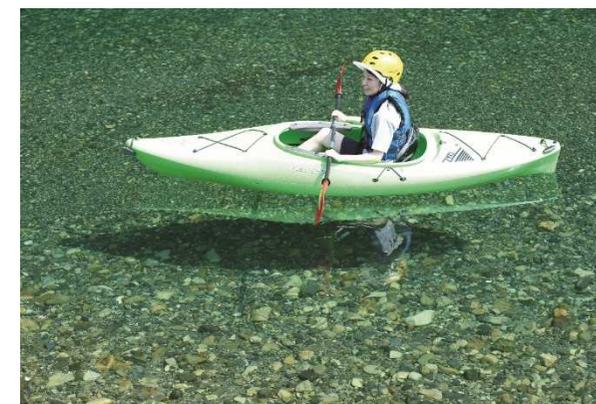
〈R6来県実績エリア内訳〉

県外+県内 (計)	<b>116</b>
県内校	<b>11</b>
県外校	<b>105</b>
近畿圏	
滋賀県	2
京都府	27
大阪府	33
兵庫県	9
奈良県	5
関東圏	
東京都	4
神奈川県	5
埼玉県	3
中京圏	
愛知県	8
三重県	3
中国・四国・九州	
香川県	1
広島県	3
福岡県	1
大分県	1



## 不動の人気エリアの代替え地に！！

- ◇教育旅行の人気エリアは大人になってからも訪れる機会が多くアクセスも良く気軽に行ける
- ◇和歌山は教育旅行だからこそ訪れるエリアです！！
- ◇遠方から方面変更いただき、ご予算を抑え内容の濃い修学旅行に！！



# 皆様のお越しを心よりお待ちしております!!!



【学びの旅パンフレット】



【モデルコース】



【ほんまもん体験】

【担当者連絡先】

公益社団法人 和歌山県観光連盟  
和歌山県 地域振興部 観光局 観光交流課  
TEL : 073-441-2785 FAX : 073-427-1523  
e-mail : e1005001@pref.wakayama.lg.jp